



〒227-8501  
横浜市青葉区藤が丘1-30  
Tel: 045-971-1151



昭和大学藤が丘病院

検索



〒227-8518  
横浜市青葉区藤が丘2-1-1  
Tel: 045-974-2221



昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

検索

発行 行：昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

発行責任者：昭和大学藤が丘病院 病院長 高橋 寛

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

## ご挨拶

## 血液内科と言えば、藤が丘病院と言われるように

### 《 来 歴 》

- |            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 1989年      | 東京医科歯科大学卒業<br>東京医科歯科大学医学部附属病院 研修医  |
| 1990年      | 国保旭中央病院 内科 医員                      |
| 1992年      | 東京医科歯科大学 第一内科 医員                   |
| 1993年      | 都立駒込病院 血液内科 医員<br>東京医科歯科大学 第一内科 医員 |
| 1998年      | 日本学術振興会 特別研究員                      |
| 2000年      | 東京医科歯科大学 血液内科 助手（助教）               |
| 2002～2005年 | 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校 研究員             |
| 2017年      | 東京医科歯科大学 血液内科 講師                   |
| 2018年      | 鳥取大学医学部附属病院 血液内科 教授                |
| 2023年      | 昭和大学藤が丘病院 内科（血液） 教授                |



内科（血液）  
福田 哲也 教授



2023年4月1日付けで、内科（血液）診療責任者を拝命いたしました、福田と申します。

私は、1989年に東京医科歯科大学を卒業後、東京医科歯科大学医学部附属病院、旭中央病院、都立駒込病院で研修後、東京医科歯科大学血液内科に在籍しておりました。その間、2002年10月から2005年8月に、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校に留学しております。サンディエゴは温暖で、青い空と緑の芝生が広がる所で、大変素晴らしい日々でした。

2018年4月より鳥取大学医学部附属病院血液内科に赴任しました。都心の大学から地方大学に移り、その地域での中核病院が果たす使命、求められる役割について、多くを学びました。私の在任中に医局員も増え、血液内科診療の充実が得られたと自負しております。

今回、縁あって藤が丘病院に赴任いたしました。病院、診療科の求められる要望に答えられるよう尽力して参ります。地域の皆様に最高の血液内科医療を提供できるように、医局を発展していけたらと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。



乳腺外科  
榎戸 克年 准教授

この度、乳腺外科診療科長を拝命いたしました榎戸克年です。私は1996年に昭和大学を卒業後、聖路加国際病院での研修、海外で手術経験を経て、2010年より昭和大学に勤務しています。2016年11月に藤が丘病院にブレストセンターが設置され、その時より藤が丘病院での乳癌診療に従事しています。

乳癌は日本人女性が最も多く罹患するがんであり、現在9人に1人がかかると言われていています。一方では適切な治療により治る可能性が高く、その治療法は急速に進歩しています。特に術前術後の薬物療法やゲノム診療は目まぐるしく変化しており、常に診療環境の対応が必要となっています。現在遺伝性乳癌に関わるBRCA遺伝子の検査が保険診療で行えるようになりました。安心して遺伝子検査が行えるように遺伝カウンセリング外来もご案内し、心理的な負担を軽減できるように努めています。



昭和大学藤が丘病院 ブレストセンター



再発が見つかった場合には、内科（腫瘍・緩和医療）、放射線科・放射線治療科、病理診断科をはじめとする様々な診療科スタッフとカンサーボードで最善の治療の検討を行っています。現在はがんゲノム医療連携病院にも指定され「がん遺伝子パネル検査」を行っています。必要な場合には内科（腫瘍・緩和医療）と連携し、迅速に「がん遺伝子パネル検査」を実施できる環境を患者さんへ提供しております。高齢の患者さんも多く、標準治療が行えない状況がありますが、多くの患者さんから得られる経験を共有し、地域におけるがん治療に貢献することは大事な役割と考えています。

いつでも安心して受診できる診療科を目指し、これからも努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



ブレストセンター  
のホームページは  
こちらから



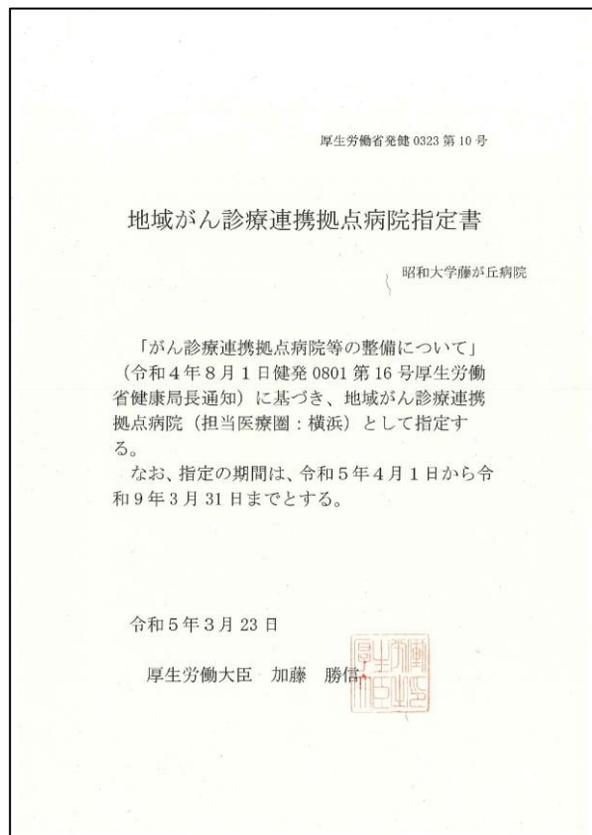
## ▶ 地域がん診療連携拠点病院 指定更新

この度、当院は2023年4月1日付で「地域がん診療連携拠点病院」として厚生労働省からの指定が更新されました。これまで、2016年度に「神奈川県がん診療連携拠点病院」（神奈川県知事指定）、2021年4月に新規で「地域がん診療連携拠点病院」として指定されてまいりました。

2023年4月1日時点で、神奈川県には同指定を受けている病院が21病院存在しており、そのうち横浜エリアに当院を含め9病院ございます。

がん診療連携拠点病院は、がん対策基本法やがん対策推進基本計画等に基づき、各地域におけるがん医療の質の向上を推進することが求められております。2023年3月28日に第4期がん対策推進基本計画が閣議決定され、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」ことが全体目標とされております。

また、当院には患者さんやご家族からがんに関する相談（がん治療や副作用のこと、費用面や不安等）を受け付けているがん相談支援センターもございます。これからもなお一層、昭和大学横浜市北部病院を含む神奈川県内のがん診療連携拠点病院とより深い連携を図り、がん診療の更なる質の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。



## ▶ 藤が丘病院がん患者サロン・家族サロンの開催

3月18日に藤が丘病院がん患者・家族サロンをオンラインで開催しました。このサロンは、患者さんやご家族同士が、同じ立場で自らの経験や日頃のお話をする事で、不安感や孤独感を和らげることを目的とした交流の場です。

今回は「自宅でできるリハビリ運動」「薬だけじゃない、便秘体操」をテーマとしてリハビリテーション室の黒岩理学療法士によるミニレクチャーを開催しました。さまざまな体操を参加者の皆さまと一緒にやった後、普段感じている不安や情報交換を参加者とスタッフ皆でお話致しました。参加された方々からは「話ができてよかった」「次は違う内容についても聞いてみたい」といった感想や、「オンラインだと体調があまり優れなくても自宅から参加できるからよい」と意見がある一方で「対面でお話できるようになると尚よい」といったコロナ禍故に生じる環境についての感想も頂戴いたしました。

今後がん患者・家族サロンを開催いたします。開催日時につきましては、院内ポスターやホームページに掲載いたしますので、お気軽にご参加ください。

## ▶ 病院を支える防災センター

防災センターでは、日常の定期的な業務として電気設備、空調設備、衛生設備、防災設備、建築設備の保守、点検を行っています。院内は1年を通じて24時間体制となっているので冷暖房機器や照明器具、給排水設備などの管理も行います。

具体的には、電気・空調・衛生・医療ガス・防災設備の監視業務を行っています。照明・空調機器のスケジュール管理、電気・冷熱源設備の日常点検等を行い、可能な限り未然にトラブルを防ぎます。また、検針業務（電気、ガス、水道）、残留塩素測定、その他警報やトラブル発生時の対応、修繕業務、定期巡回点検による各種設備機器の異常の有無の確認、専門業者による定期点検や修繕の立会等を行っています。さらに、エレベーターの運行状況を監視盤で監視し、故障時にはエレベーター内にインターホンで連絡を取り、業者の手配を行います。



藤が丘病院防災センターのみなさん

防災設備には、防災監視盤・非常放送・消火栓・スプリンクラー・ハロン等の設備があり、24時間体制で監視を行います。火災発生時には現場を確認し、守衛室と連携を取り、初期消火・消防署への連絡をします。災害時には、ライフライン及び建物や各設備に異常がないかを点検し、異常があれば対処します。その際、東京電力側で停電が発生した時は、自家用発電機の運転確認及び安定運転の維持管理を行い、燃料を確保します。給水配管が破断し漏水した時は給水バルブを閉め漏水を止めます。水道局側市水管が断絶し病院内に給水できない場合は、青葉区役所に応急給水装置（非常用水道管）による受水槽の給水を依頼します。水道局の指示により、防災センターにて応急給水装置にホース等を接続し受水槽への送水を行う場合もあります。

昨今の電気ガス料金高騰により、省エネ対策の見直しを行い、照明器具のLED化、蛍光灯・電球の間引き及び、空調機の設定温度変更・運転時間の変更などを計画しています。その実施計画や実施結果の報告書を、横浜市や経済産業省等に毎年提出をしています。暗い、暑い、寒いなどご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力をお願い致します。

（藤が丘病院 防災センター 神越 英夫）

## 診療統計

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2023年4月	2023年5月	2023年4月	2023年5月
外来患者数	22,696人(945.7人/日)	21,515人(935.4人/日)	4,079人(170.0人/日)	4,114人(178.9人/日)
入院患者数	14,773人(492.4人/日)	13,863人	5,262人(175.4人/日)	5,284人(170.5人/日)
紹介率	92.7%	90.4%	70.0%	67.1%
逆紹介率	86.6%	78.7%	79.9%	72.6%

### 《広報・公開講座委員会》

森岡 幹、酒井 広隆、鈴木 洋、布山 正貴、小岩 文彦、今井 敦、佐々木 春明、松原 大、高木 睦子、柴田 綾、出口 智一、孫 雨晨、岡部 圭吾、門田 美佳、川手 信行、西村 栄一、小野寺 真美、廣井 高志、鳥居 美弥子（順不同）



小児科  
神谷 太郎 准教授

《 来 歴 》

1996年	昭和大学医学部卒業
1996年	昭和大学医学部小児科学教室入局（現講座）
2002年	国立成育医療研究センター病院総合診療部
2004年	昭和大学医学部小児科学教室 助手
2010～2012年	トロント小児病院臨床薬理学部門留学
2016年	昭和大学医学部小児科学講座 講師
2022年	昭和大学医学部小児科学講座小児内科学部門 准教授
2023年	昭和大学藤が丘病院こどもセンター小児科 診療科長

2023年4月より藤が丘病院小児科の診療科長を拝命しました神谷太郎です。私は1996年に昭和大学を卒業し、故飯倉洋治教授のもと、小児科学講座に入局しております。入局後は、昭和大学病院および関連病院にて研修するとともに、専門領域として小児アレルギー疾患の診療に従事してきました。

藤が丘病院での勤務は初めてとなりますが、これまでの経験を踏まえ、子ども達のお役にたてればと考えております。さらには、小児科は小児の総合診療科でありますので、専門領域にとらわれることなく、スタッフ一同、地域の子ども達が健やかに成長できるよう務めていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いたします。

## トピック

世界トライアスロン横浜大会に  
メディカルスタッフとして参加しました！



2023年5月14日(日)、ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会にメディカルスタッフとして参加しました。

横浜が誇る絶景スポットである山下公園や赤レンガ倉庫を舞台として、全世界のプロからアマチュアまで1700名が参加した世界規模の大会となりました。

トライアスロンではSWIM・BIKE・RUNを同時に大人数で行うため、傷病者が広範囲にかつ同時多発的に多数発生することが想定されます。メディカルスタッフにはこれに対応することが求められ、これは災害現場での傷病者発生状況と似ています。日常からおこなっているDMAT訓練を実際実践する機会となり大変有意義なものとなりました。

また完走者の達成感ある表情をたくさん目の当たりにして、トライアスロンの魅力を感じ次回は競技者としても参加してみてもいいなと思っております。

# 期待される医療人へ

ジョブローテーションの制度があり、病院・法人・学事と異なる環境で様々な業務の経験を通じ、成長できると感じたため昭和大学を志望しました！！

この度、昭和大学藤が丘病院管理課経理係に配属されました小野香奈子と申します。

配属され約1ヶ月が経ちましたが、経理についての知識がない中でのスタートであったため、まだまだ専門的な知識や業務内容が分からないことばかりです。ですが、先輩方が優しく丁寧に教えてくださるので、新しい知識を習得することが楽しいと思える日々を過ごしています。このような環境下で業務を行っていることに感謝し、日々学習しながら自ら考えて行動できるよう精進していきます。

まだまだ未熟者ですが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



(藤が丘病院 管理課/管理係経理担当 小野 香奈子)

この度、藤が丘病院クオリティマネジメント課に配属されました小宮大世と申します。

大学では法学部に所属し、医療ドラマやアニメで聞く単語をわかりやすく学べる法医学の講義に一番興味を持って取り組みました。医療分野に関しては素人なので、日々、聞き馴染みのない単語だらけで勉強が必要と感じております。ただ同時に、当課の人間だからこそ立てる視点から病院に貢献する瞬間も目の当たりにし、自分のできることを模索しながら努めています。

今年度の目標は、周りの方々に認めていただける人間になることです。失敗の多い一年でご迷惑おかけすることも多いかと存じますが、取り組む姿勢を常に意識していきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(藤が丘病院 クオリティマネジメント課 小宮 大世)

## トピック

### 第46回

### 藤が丘地域医療連携フォーラムを開催いたしました！

4月13日に第46回藤が丘地域医療連携フォーラムを開催いたしました。本フォーラムは新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、コロナ禍ではオンラインでの講演としています。今回の藤が丘地域連携フォーラムにはご多忙の中、60施設62名の院外関係者の皆様、院内関係者43名の総勢105名の方にご参加いただきました。皆様方には心より御礼申し上げます。

#### 第46回藤が丘地域連携フォーラム講演会

##### 1. 「上部消化管疾患Up-to-date～最近の消化性潰瘍、食道癌、胃癌等について～」

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 五味 邦代

##### 2. 「100%安全な病院を目指した集中治療科の挑戦」

昭和大学藤が丘病院 集中治療科 佐藤 督忠



次回の藤が丘地域連携フォーラムは2023年7月13日（木）に開催を予定しております。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

(藤が丘病院 医事外来課 田代 ゆい)